

平成 29 年 10 月 31 日

各位

会 社 名 株式会社ヤマダ電機
代表者名 代表取締役社長 桑野 光正
(コード番号 9831 東証第一部)
問合せ先 取締役兼執行役員専務 岡本 潤
(TEL. 0570-078-181)

株式会社F OMMとの資本業務提携に関するお知らせ

株式会社ヤマダ電機（本社：群馬県高崎市、代表取締役社長：桑野 光正、以下「ヤマダ電機」）は、「緊急時に水に浮く超小型 4 人乗り電気自動車」をコンセプトに、革新的なモビリティ開発を進める株式会社F OMM（本社：神奈川県川崎市、代表取締役：鶴巻 日出夫、以下「F OMM」）と資本業務提携契約を締結いたしました。

記

1. 目的

ヤマダ電機は、地球環境との共生が社会・経済の持続的発展の基盤であると考えています。そのため、事業活動を通じた環境負荷低減の取り組みとして、ご家庭での省エネ・創エネ・畜エネ推進の支援や使用済み家電のリユース・リサイクル事業、スマートハウス事業等、お客様の環境対策や社会全体の環境負荷低減に向けた取り組みを行っています。

今回F OMMとの資本業務提携により、小型電気自動車の社会普及を促進し、これまで以上に環境に配慮した総合環境づくりを推進するとともに、お客様の健康・生活に必要なさらなる「安心」の提供を目指してまいります。

F OMMの電気自動車は、コンパクトなサイズでありながら 4 人乗車が可能であり、近距離移動に最適な設計がなされています。さらには世界でも他に類を見ない、水に浮くという性能を有しており、異常気象等で発生する水害時においても、安全に移動することができます。

今後の展開として、ヤマダ電機が持つ日本最大級の店舗ネットワークの強みを活かした小型電気自動車販売の実現、さらには電気自動車を「21 世紀の新しい家電」と位置づける新たな発想とサービスとの融合により、ヤマダ電機グループ店舗でのバッテリーチャージング、カーシェアリング、スマートハウス事業との融合による環境負荷を低減する住まいづくりなど、次世代モビリティ・ビジネスの構築を目指します。

ヤマダ電機は、F OMMの電気自動車との組み合わせにより、総合的な環境ビジネスとしての事業を推進するとともに、「創造と挑戦」の理念をもとに社会・環境に貢献すべく新たな可能性を追求してまいります。

2. 株式会社F OMMの概要

(1) 名称	株式会社F OMM
(2) 所在地	神奈川県川崎市幸区新川崎 7-7 かわさき新産業創造センター(K B I C) 本館 214 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 鶴巻 日出夫
(4) 事業内容	①小型電気自動車開発（世界最小クラス 4 人乗り電気自動車を 2014 年発表） ②部品開発（小型電気自動車専用高性能インホイールモーターの開発） ③超小型電気自動車に関する技術コンサルタント ④研究開発（地域ニーズに応じた機能開発）
(5) 資本金	515 百万円（平成 29 年 8 月 10 日現在）

以上